

令和7年度 期末評価結果

<p>共同利用・ 共同研究拠点名</p>	<p>現象数理学研究拠点</p>
<p>大学等名 (研究施設名)</p>	<p>明治大学 (先端数理科学インスティテュート (MIMS))</p>
<p>評価区分 (期末評価結果)</p>	<p>S</p>
<p>評価コメント</p>	<p>本拠点は、特に、文理融合型の研究を数理モデリングの視点から推し進め、共同研究と研究集会の場を提供して当該分野の研究の発展に貢献し、社会の様々な複雑現象を現象数理学の観点から解明するための共同利用・共同研究拠点を構築することを目的に拠点活動を実施している。拠点としての活動が活発に行われており、共同利用・共同研究を通じて特筆すべき成果や効果が見られ、関連コミュニティへの貢献も多大であったと判断される。</p> <p>論文発表は、国際学術誌掲載論文数も多数含まれる等、学術成果の創出は順調に行われており、研究実績は極めて良好である。また、芸術と数理科学の潜在的な親和性を探求するという新たな学際領域の創出に資する意欲的な試みを積極的に支援する等、活発な活動が多岐にわたって行われており、関連コミュニティの発展にも大きく貢献している。</p> <p>今後は、共同利用・共同研究活動の更なる活性化及び質の高い研究成果の創出が望まれる。</p>